

第一話

おっぱいを吸いたい



おっぱい吸いたいの？

フッ♡

♡JINRUS♡

ほろ

大学で再会した
先輩と付き合い
始めて数日—。

フッ
ニ

もしかしたら先輩は
女神なのかもしれ
ないそう思った。

二時間後

あ、

もう取れちゃう
乳首取れちゃうよっ

アツパ

アツパ

ギュー

ごめんなさっ
まだ、ミルクでないのお

たしかに、ミルクは出ないけど、
ほのかな甘い香りに、
「もう少し吸えば出てくるかもしれない」
そんな間抜けな考えに
思考が支配されていた。
もうしばらくやめられそうにない。

気が付いたら夜になっていた
先輩は放心状態で反応がない
知らない間に先輩をイカせ
まくっていたようだ

終わった…？

まさかこんなことになるなんておもいも
しなかった…♡

ハア

ビクッ
ムム

ビクッ
ムム

ハア

もうおまんこびしょ濡れ
こんなの絶対、ハメられた
瞬間イッチャうよっ

……よっ
とりあえず謝ろう

大丈夫だよ
私のおっぱいはもう
君のものだから

いつでも好きな時に
好きなだけ吸って♡

あはっ

……でも、
今度は私の全部
君のものにしてほしいな♡

先輩は僕を喜ばせる
プロなのかもしれない。
そう思えるほど、コーフンする
ツボをおさえてくる

しぱっ





すごいっ
もうイッてる♡

あっ
またイッちゃう！
イク、イクっ、イクう

イクの止まらないっ
こんなの、こんなのお
頭おかしくなるうっ♡

あんっ

あっ

めちやくちや乱れる先輩に
コーフンが収まらなかった
今夜はちよっと眠れそうに
ない

第二話

フエラしてほしい



寝る前に何を話したか
記憶はあやふやだけど
僕は多分こう言った
気がする

あっあんっ

ギシギシ

「フェラで
起してほしー」

いいよっ♡
ついでに一日中
フェラしてあげようか？

うん
じゃあまた明日ね
おやすみ♡



朝、目が覚めると
下半身が気持ち良かった
人生最高の目覚めかも
しれない

昨日あんなにしたのに
すごい元気だね♡

今日は何回できるかな？

いつでも好きなのきいて
出していいからね♡

おはよう♡

キュン
キュン

ジュジュ

おちんちん
すごく硬くなってるっ

チュブ

大好きな人の
精子っ♡

精液出して
気持ちよくなって
ほしいっ♡

学内でも美人で有名な
先輩が顔をゆがませて
僕のちんこにしゃぶり
ついている

んっ

グ

ジュホ

ジュホ

んっ

んぼっ

喉の奥まで使った
献身的なフェラチオ

ドピュッ

ドプッ

ゴキュッ
ゴッキュ

あつという間に生かされてしまった
オナニーとは比べ物にならない快樂に
腰が砕けそうになる

いひひよごさまっ♡

ガエエッ
プ

射精の余韻の中
目の前の先輩が
たまらなく
愛おしくなる

あ

こんなの、毎日でも
頼んでしまいそうだ

大学の講義中にも

苦いけど
おいしいっ♡
もっと、もっとだして♡

精液がのどに
からみつく
この感じ、クセに
なりそう♡

ゴクッ

ちゅっ

ドッポ

こんなにも美人な先輩を
他の学生たちのすぐ後ろで
じゃぶらせている状況に
コーンしてすぐに
射精してしまった

一日の最後は
お風呂場で

ドポ

ムッ

ゴク
ゴク

んっ

んっ

きたあ♡

せせせ
いいし
ししし
っっっ
♡♡♡

快樂と優越感とで
頭がおかしく
なりそうな一日
だった。

びくっ

びくっ

やわらかな太ももを
堪能しながら何度も
子宮を目指して
ちんこを突き立てる

あんっ♡

気持ちいいっ
気持ちいいのお

もうずっと
おまんこして
ほしくなっちゃう

あひっ♡

しかし、気づけば
揺れるおっぱいに
目を奪われていた

ビクッ

あっ

ビクッ

第三話

中出ししたい



裸エプロンで料理してくれる
先輩に我慢できなくなった僕はー

んっ
いつか来るとは
思ってたけど、
ついにー

いつもと変わらず
甘えるように
頼んでいた。

おまんこが期待
しちゃってるよお

♡♡♡♡♡

君がどれくらい
わたしのこと好き
なのか……

嬉しいっ♡

わたしの全部欲しく
なっちゃったんだ

子宮に直接
教えて♡

グッ

欲望のままに
腰を打ち付ける

愛し合うセックス
じゃないー

種付け生セックス

深いのお♡

もう、
イクっ!!
イっちゃっ

やああ♡
もうイクそっ♡

先輩がイっても止めない
何度も何度も腰を打ち付け
ひたすら射精感を
高めていく

あッ

ビクッ

ビクッ

たぶん

いっ

あっ——

中出しきたあ♡

子宮に直接、
大量の精子があ

ドビュッ
ドビュッ

ドッポ

ビュ

ガク

ガク

両腕つかまれて
体を固定されて
子宮をロックオン
されてるう♡

こんなの絶対
妊娠しちゃう♡

気持ちよすぎて
頭おかしくなるそう

あ、
あ、

ビュッ



こんなにイカされたら
おちんちん大好きな変態女
になっちゃうよお♡

そしたら嫌われ
ちゃうのかな？

もう料理は
どうでもいい

でも、

おまんこから
精子垂れるの
気持ちいいっ!!

僕は先輩を
ベッドに
連れて行った。

ビクッ

ゴホォ

んほおおお

イックウウウ!!

精子すっぴん
きたあ♡

もうお腹いっぱい
入りきらないっ

でもっ
ん、きもちいい♡

セクッ

セクッ

セクッ

ドビュ

ドッ
ドッ
ドッ

ドビュ

セクッ

ドビュ



あはっ♡

いっぱい
出たね♡

もうおなか
タプタプだよお

一応、今日は
安全日だけど

こんなに中出しされたら
流石に危ないかも……

安全日!!

つまり中出し
し放題!!

コポオ

今度は、
わたしが上？

♡♡♡♡♡

その時はわたしのおまんこ
好きに使っていいからね♡

でも、イキすぎても
もうかなりの限界だから
気を失っちゃおうかも

ハァ

ハァ



のっし

ん、ぎもぢいゝゝ

腰が勝手に
動いちゃうっ♡

あう

あん

このままだとまた
すぐイっちゃう♡

イキ癖が
ついっちゃうてるかも

たんっ
たん

ぢゅぢゅ

たんっ

先輩の愛情たっぷりな
騎乗位の破壊力を
侮っていた。

このままだと
こっちがすぐに
イカされてしまう

あ、イクっ
イクっ♡

ビク

ビク

——っ♡

急に先輩の体から
力が抜けて
動かなくなった

心配になって声を
かけたが、やっぱり
気絶していた

——っ♡

ビクッ
ビクッ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅるる

ビクッ
ビクッ

ということ、先輩が言っていた
とおり、好きにやらせてもらおう

目の前の無防備で無抵抗な
美女に無許可で中出ししまくる
なんて最高のシチュエーション
すぎる
ちなみに、先輩が目を覚ましたのは
二時間後だった。

ビクッ

ビクッ

第四話

外でエッチしたい



お祭り
楽しかったね♡

来年も一緒に
来ようね

?

どうしたの？
そんなに見つめて…

したくなっちゃったんだ？
…いいよ♡

でも人気のない
ところで、ね

フワッ



通りの裏に行つて
先輩の浴衣をまくり上げると
ノーパンノーブラだった

僕は勃起したちんこを
先輩のおしりに押し付けながら
さらに浴衣を脱がしていった。
外で全裸もコーフンする!!

ぜったい
感じすぎちゃうっ

ガ
ハ
ッ

キ
ム

うそ!?!
全部脱いじゃうの!?!

そんなのダメ!!
コーフンしちゃうから

先輩は動揺しながらも
浴衣を脱いでくれた

フェラチオして
と、お願いしたら
とんでもない速さで
しゃぶりついてきた

おちんぽ
おちんぽ
おちんぽ♡
おちんぽ♡

早くわたしの中に
ちようだいっ♡

ぐっポ
ぐっポ

レロ
レロ

ビクッ
ビクッ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

ああっ!!
早くコシでおまんこ
ズボズボしてほしいっ♡

あまりのしゃぶりつきに
すぐに射精しそうだったので
まんこ出して、とお願いする

先輩がおしりを振って
挑発してくる

早くちんぽ
入れてほしいっ♡

もうめちやくちやく
濡れちゃってるの

こんなの絶対
声でちゃうよぉ♡

外なのに、いや外だから
コーフンしちゃってるの

もはや当然のように
ゴムを着けずに
挿入した



一気に奥まで突き入れると
先輩は激しく体を震わせた

— イッ

必死に声を我慢している
姿が可愛すぎて何度も
深く突き上げた

もう周囲に気づかれても
構わない

今はとにかく目の前の
先輩をめちやくちやに
犯してしまいたい



あッ

ゴッ
ゴッ

ぐちゃ

ぐちゃ

もう声我慢
できないっ!!

ピクッ

子宮がキスする
度にイっちゃう

このまま種付け
射精されちゃったら
絶対誰かに気づかれ
ちゃうよ

先輩のイキ声が
あたりに響き渡った

間違いなく何人もの
人の耳に入った
ことだろう

でも……

今までで一番の快感に
浸りたい気分だった

んっ♡

ひっ♡

一刻も早くこの場を
離れないと……

少なくとも先輩のマンコが
しゃぶりついている間は
余韻を楽しんでも
問題ないだろう

たっぴん

ゴポオ

ビクッ

たっぴん

第五話

孕ませたい



祭りの日から
数日後——

屋外で大絶頂を迎えた
後から、先輩はかなり
積極的になっていた

ほら
ほら
あ♡

ねえ、
もうおまんこ
準備できているよ♡

早くちよごだい♡

こんなに誘われて
断れるわけもなく
毎日先輩に中出し
していた

でも僕は
知っている

先輩が毎回ちゃんと
アフターピルを飲んで
避妊してくれていること
でも、僕は今日
決心していた

ヒク ヒク

—えっ!!

孕ませたいって
本気、なの？

……うん
いいよ♡

私も君の
赤ちゃん欲しい♡

ああっ、もっ!!
我慢できないうわあ♡

ドキ
ドキ

やだっ
嬉しいっ♡

ハッ

ハッ

キュン
キュン

くちゅ
くちゅ

わたしの子宮に
思いつきり種付け
してえ♡

本当はずっと
前から君の赤ちゃん
ほしかったの





ゴホッ
ビィッ
ゴホッ
ゴホッ

あッ
ッ
ッ

おっ

ドッ
ドッ
ドッ
ドッ

子宮に直接きたっ♡

一滴残らず注がれ
ちやってるっ

こんなの無理!!
絶対妊娠しちゃう
妊娠するの♡

ビィッ
ゴホッ

気持ちよかった？

いっぱい出たね♡

あはっ♡

人生最高の射精
だったかもしれない

トクン

種付けの快樂に呆けていたら先輩にのしかられてしまった

ねっ♡

もう一回♡
しゅ♡

ふっ♡
ふっ♡

視線を落とせばおまんこから滴り落ちる精液

僕の息子はすぐに臨戦態勢になった

タッ♡
♡

ゴッ♡

ハア

ハア

もっと吸って♡

気持ちいいのっ

ちゅっ

ちゅっ

おっぱい吸われるの
好き♡

もう一生君の
おまんこだからね♡

好き♡

好き♡

あっ

もう自分の中の本能が
目の前の雌を種付けしろ
と、たぎっていた

ぬっふ♡

ぬっふ♡

キスう♡

キス好き♡

おまんこの奥
君のザーメンで
いっぱいにしてえ

キスしながら
イッちやう!

わたしに赤ちゃん
ちょうだい♡

むにゅ

赤ちゃん欲しい♡

このまま一番
奥に種付けしてえ♡

君の赤ちゃん
欲しいの♡

パン

パン



タフン♡

ヒッ
ズ

ヒッ
ズ

ヒッ
ズ
ヒッ
ズ
ヒッ
ズ

ヒッ
ズ

大好きっ♡

先輩は自分の精子を
受け入れて幸せそうに
呆けていた

僕はこの笑顔を一
生守っていきこうと、
心に誓った

キエシ

あとがき

皆さんご購入ありがとうございます。前作よりかなり間が空いてしまいましたが、なんとか2作目を発売することが出来ました。しかし製作期間半年以上ということで、絵柄が安定せず、最後の調整にも時間がかかってしまったのは良くなかったと反省の至りでございます。

次回作はもっと早く発売できるように頑張りますので、応援してくれると嬉しく思います。

それではまた次回(おそらくCG集)で会いましょう。^^ /

